施策の評価シート（令和５年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051134
		施策	34	文化の振興	本冊ページ	84
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン後期基本計画			
担当部局			スポーツ文化振興部、教育委員会			
施策の内容（番号）			107	～	110	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
107	音楽、美術、演劇、舞踊、映画、能楽など多彩な文化芸術の鑑賞機会や市民の学び・創作・発表の場及び機会を創出するとともに、関係機関と連携を図り、文化芸術の創造を担うリーダーや若い世代の育成に加え、効果的な情報発信を行い、市民が主体的に参加する活動の輪を広げます。	A	①	文化振興課
108	各地域における文化ホールなどの文化施設は、地域や施設の特性に応じた効率的な維持管理を行いながら、より利便性が高い利用形態への見直しや民間の専門的なノウハウの導入を図り、実演芸術の振興を核として公演の企画運営等を行い、芸術文化の創造・発信拠点としての機能を強化します。	A	①	文化振興課
109	地域の伝統文化や伝統芸能の保存継承、普及に向けて、市民の発表や学習の場を創出し、後継者を育成します。	A	①	文化振興課
110	歴史資料等については、発掘・収集、適切かつ効率的な保存・管理に努め、積極的な活用・情報発信による地域内外の文化交流を進めます。	C	①	生涯学習課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	美術展覧会等の開催や「津市民文化」の発行、文化活動に対する補助、久居アルスプラザ指定管理者による自主事業をはじめ、津城跡の保存・活用に向けた情報発信や市民意見の集約による津城跡整備の方向性の検討を行うなど、文化の振興に向けた取組が進みました。イベント等の開催や補助の実績は当初の目標を概ね上回りました。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	D	A	A				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051134107
		施策	34	文化の振興	本冊ページ	84
	関連個別計画					
担当部局			スポーツ文化振興部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			107	音楽、美術、演劇、舞踊、映画、能楽など多彩な文化芸術の鑑賞機会や市民の学び・創作・発表の場及び機会を創出するとともに、関係機関と連携を図り、文化芸術の創造を担うリーダーや若い世代の育成に加え、効果的な情報発信を行い、市民が主体的に参加する活動の輪を広げます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
				何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
107-1	市民文化祭等開催事業	文化振興課	市内文化施設にて市民文化祭を開催	効	実行委員会が、市民の芸術創作・発表の場を提供し、成果を発信する	◆ 事業数：30事業	◎	令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類移行となり社会活動も正常化し、目標を上回る31事業を実施することができた。参加者数も8,114人と、コロナ禍以前の水準に戻りつつある。 参加者数が順調に推移していることから、令和6年度についても継続して事業を実施し、参加者数の増に努める。
				誰	市内外の人々	◇ 参加者数：11,000人	△	
				何	事業への参加を通じた芸術創作活動の活発化	2,062（千円）	現状維持	
107-2	美術展覧会開催事業	文化振興課	美術展覧会の開催	効	実行委員会が、市民の芸術創作・発表の場を提供し、成果を発信する	◆ 作品出品数：250点	○	令和5年度は、248点の出品があり、久居アルスプラザにて開催し、アンケート調査でも8割以上の来場者に満足いただく結果となった。 好評なアンケート結果を得られたことから、令和6年度についても継続して事業を実施し、出品数の増に努める。
				誰	市内外の人々	◇ アンケート満足度：70%	◎	
				何	出品や鑑賞をすることにより、市民文化の向上を図る	4,169（千円）	現状維持	
107-3	文化振興基金事業	文化振興課	基金を活用した文化活動に対する補助等	効	基金の補助採択者が、補助金を活用し、催し物などを行う	◆ 申請件数：5件	◎	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し行動制限等が緩和されたことに伴い、令和5年度の申請件数（補助件数）は7件、補助実績額の割合も87.7%となり、いずれも目標値を上回った。 補助件数や実績額が順調に推移していることから、令和6年度も引き続き補助事業を実施する。（令和6年度は5件を予定。）
				誰	市民及び市内団体	◇ 補助実績（決算額/予算額*100）：70%	◎	
				何	文化芸術の発表などの活動をしやすくする	1,228（千円）	現状維持	
107-4	霧山薪能開催事業	文化振興課	伊勢国司北畠氏にゆかりのある能・狂言などの伝統芸能及びお茶会等を北畠神社にて開催	効	実行委員会が、歴史的資源を活用し、薪能などを開催する	◆ 参加者数：350人	◎	雨天による会場変更を行ったが予定通り令和5年10月14日（土）に開催し、参加者数は385人、アンケート調査の満足度割合は95%となり、いずれも目標値を上回った。 好評なアンケート結果を得られたことから、令和6年度も継続して事業を実施する。（令和6年9月28日（土）に開催予定）
				誰	市内外の人々	◇ アンケート満足度：80%	◎	
				何	事業の鑑賞を通じて歴史や北畠氏館跡庭園などへの関心を高める	2,100（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和5年度分）

107-5	郷土芸能ふれあいフェスティバル開催事業	各地域に伝わる郷土芸能や食文化を主とした物産を一同に集め、郷土の歴史や文化を紹介するフェスティバルを市内各地域で年1回開催	効	実行委員会が、各地域の郷土芸能や食文化を生かしたフェスティバルを開催する	◆ 参加団体数：15団体	◎	令和5年度については津リージョンプラザにて開催し、参加団体数は屋内で18団体、屋外で5団体、入場率は230%を記録し、いずれも目標値を上回った。 参加団体数や入場率が順調に推移していることから、令和6年度も継続して事業を実施する。（白山総合文化センターにて開催予定）
			誰	市内外の人々	◇ 入場率（入場者数/会場定員*100）：100%	◎	
	文化振興課		何	郷土芸能への関心を高め、地域交流を深める	1,200（千円）	現状維持	
107-6	青少年文化創造拠点形成事業	青少年が早い時期から文化やホールに親しむ機会を提供することにより若い世代の育成につながるようホールイベントを開催	効	実行委員会が、文化ホールを活用し、津市青少年文化芸術祭を開催する	◆ 参加団体数：12団体	◎	令和5年度は、津リージョンプラザにて開催し、参加団体数は15団体、入場率は150%を記録し、いずれも目標値を上回った。 参加団体数や入場率が順調に推移していることから、令和6年度も継続して事業を実施する。（令和7年1月19日（日）に津リージョンプラザにて開催予定）
			誰	市内の小学生、中学生、高校生	◇ 入場率（入場者数/会場定員*100）：100%	◎	
	文化振興課		何	文化ホールへの親しみが生まれ、文化芸術活動への意欲が高まる	700（千円）	現状維持	
107-7	津市民文化発行事業	総合文化誌「津市民文化」を発行	効	津市民文化編集委員会が、企画・編集を行い、市が発行する	◆ 年1回発行	◎	令和5年度は、発行時期の延期はあったものの、予定どおり発行し、各種入門講座も開催した。販売実績は前年度から96冊減の277冊となった。（無料配布数との合計1,027冊）特集内容により、販売数が影響することから、市民に興味を持たれるような記事、構成に取り組み、今後も継続して事業を実施する。
			誰	市内外の人々	◇ 無料配布数+販売数：1,100冊	○	
	文化振興課		何	津市の文化について知識を広め、文芸部門の発表の場とする	1,061（千円）	現状維持	
107-8			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	A	D	D	B	A				
今後の方向性	①	①	②	②	②	①				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051134108
		施策	34	文化の振興	本冊ページ	84
	関連個別計画					
担当部局			スポーツ文化振興部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			108	各地域における文化ホールなどの文化施設は、地域や施設の特性に応じた効率的な維持管理を行いながら、より利便性が高い利用形態への見直しや民間の専門的なノウハウの導入を図り、実演芸術の振興を核として公演の企画運営等を行い、芸術文化の創造・発信拠点としての機能を強化します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
				何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
108-1	津リージョンプラザ管理運営事業	文化振興課	津リージョンプラザの管理運営	効	施設の効率的、効果的な維持運営管理を行う	◆ 利用率：60%	◎	利用率は、目標値60%に対し実績値68.8%と目標値を上回った。来館者数は、目標値90,000人に対し実績値57,941人となり、目標値を下回ったが、直近数年間は新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた中、徐々にコロナ禍以前の水準に戻りつつある。 今後も引き続き施設の効率的・効果的な管理運営を行い利用率及び来館者数の増加に努める。
				誰	施設利用者（市内外の人々）	◇ 来館者数：90,000人	△	
				何	教育、文化等の向上、健康並びに福祉の増進を図る場を提供する	111,527（千円）	現状維持	
108-2	久居アルスプラザ管理運営事業	文化振興課	久居アルスプラザの管理運営	効	指定管理者制度を導入し、施設の効率的、効果的な維持運営管理を行う	◆ 利用率：70%	◎	利用率は目標値70%に対し実績値84.6%、来館者数は目標値100,000人に対し実績値275,368人と、いずれも目標値を上回った。 利用率や来館者数が順調に推移していることから、今後も引き続き指定管理者による施設の効率的・効果的な管理運営を行い利用率及び来館者数の増加に努める。
				誰	施設利用者（市内外の人々）	◇ 来館者数：100,000人	◎	
				何	文化芸術の振興を図り、もって地域の再生及び活性化につながる場を提供する	185,295（千円）	現状維持	
108-3	久居アルスプラザ管理運営業務	文化振興課	久居アルスプラザ指定管理者による自主事業の開催	効	久居アルスプラザ指定管理者が、文化芸術に関する自主事業を開催する	◆ 事業実施数：44事業	○	自主事業実施数について、目標数は上回らなかったが、要求水準書の要求回数を満たす41事業が実施された。自主事業アンケート調査の満足度割合は94.5%となり、目標値を上回った。 好評なアンケート結果を得られたことから、今後も引き続き指定管理者による自主事業の充実に努めていく。
				誰	市内外の人々	◇ 自主事業アンケート満足度：80%	◎	
				何	文化芸術の鑑賞等を通じて、学びや交流を促進するとともに、文化の創造と発信を行う	49,726（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和5年度分）

108-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
108-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
108-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
108-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	B	B	B	A	A				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051134109
		施策	34	文化の振興	本冊ページ	84
	関連個別計画					
担当部局			スポーツ文化振興部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			109	地域の伝統文化や伝統芸能の保存継承、普及に向けて、市民の発表や学習の場を創出し、後継者を育成します。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名 / 担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
			効：事業の実施により直接的に表れる効果		◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰：誰のための事業か		◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何：何のための事業か		決算額（千円）	今後の方向性	
109-1	霧山薪能開催事業	伊勢国司北畠氏にゆかりのある能・狂言などの伝統芸能及びお茶会等を北畠神社にて開催	効	実行委員会が、歴史的資源を活用し、薪能などを開催する	◆ 参加者数：350人	◎	雨天による会場変更を行ったが予定通り令和5年10月14日（土）に開催し、参加者数は385人、アンケート調査の満足度割合は95%となり、いずれも目標値を上回った。 好評なアンケート結果を得られたことから、令和6年度も継続して事業を実施する。（令和6年9月28日（土）に開催予定）
			誰	市内外の人々	◇ アンケート満足度：80%	◎	
	文化振興課		何	事業の鑑賞を通じて歴史や北畠氏館跡庭園などへの関心を高める	2,100（千円）	現状維持	
109-2	郷土芸能ふれあいフェスティバル開催事業	各地域に伝わる郷土芸能や食文化を主とした物産を一同に集め、郷土の歴史や文化を紹介するフェスティバルを市内各地域で年1回開催	効	実行委員会が、各地域の郷土芸能や食文化を生かしたフェスティバルを開催する	◆ 参加団体数：15団体	◎	令和5年度については津リージョンプラザにて開催し、参加団体数は屋内で18団体、屋外で5団体、入場率は230%を記録し、いずれも目標値を上回った。 参加団体数や入場率が順調に推移していることから、令和6年度も継続して事業を実施する。（白山総合文化センターにて開催予定）
			誰	市内外の人々	◇ 入場率（入場者数/会場定員*100）：100%	◎	
	文化振興課		何	郷土芸能への関心を高め、地域交流を深める	1,200（千円）	現状維持	
109-3	一身田寺内町まちづくり事業	歴史資源を後世に残していくため、国宝を中心とした寺内町の清掃や映画会を実施	効	地域住民が主体となり歴史文化資源を活用したまちづくり事業を行う	◆ 事業（春、秋の清掃・映画会等）実施数：3回	△	令和5年度は、ラフェスタプリマヴェラおもてなし事業はルート変更に伴い非開催となり、春、秋の清掃の2事業のみを実施し、参加者数は総数で約550人となり、いずれも目標値を下回った。 令和6年度はラフェスタプリマヴェラおもてなし事業を含む各種事業が予定されていることから、継続して事業を実施する。
			誰	市内外の人々	◇ 清掃・映画会等参加者数：1,000人	△	
	文化振興課		何	観光誘客と地域の活性化につながる	194（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和5年度分）

109-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
109-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
109-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
109-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	A	E	E	B	A				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051134110
		施策	34	文化の振興	本冊ページ	84
	関連個別計画		津市教育振興ビジョン後期基本計画（令和5年度～令和9年度）			
担当部局			スポーツ文化振興部、教育委員会			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			110	歴史資料等については、発掘・収集、適切かつ効率的な保存・管理に努め、積極的な活用・情報発信による地域内外の文化交流を進めます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容		事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価		
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価		
				何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性		
110-1	文化財保護補助事業	生涯学習課	文化財の保存・活用を図るための市内に存する指定文化財の保護等に関する補助	効	指定文化財所有者等が、補助金を活用し、文化財の維持管理や行事の開催、修理を行う	◆ 補助対象となる40団体の事業・活動の実施	○		新型コロナウイルス感染症対策の5類移行に伴い、伝承活動事業への補助金交付は増加（12件→16件）したが、全体では27件で令和4年度（28件）とほぼ横ばいであった。 今後も引き続き指定文化財の保護等に関する補助を継続する。
				誰	指定文化財所有者等	◇ 補助対象事業の実施件数	○		
				何	文化財を保存・活用しやすくなる	1,182（千円）	現状維持		
110-2	多気北畠氏遺跡整備活用調査研究事業	生涯学習課	伊勢国司北畠氏の拠点である多気北畠氏遺跡の学術調査等	効	国史跡多気北畠氏城館跡の追加指定に向けて発掘調査等の学術調査を実施する	◆ 発掘調査現地説明会の実施	×		発掘調査の実施については、令和4年度にまとめた調査報告の結果から今後の調査範囲や調査方法等の再考を行ったため、今年度の発掘調査及び測量調査の実施を見送った。 今後の調査の方向性や調査体制についても検討していく必要がある。
				誰	市内外の人々	◇ 現地説明会への参加者数	×		
				何	多気北畠氏遺跡の歴史的価値を知ることで、津市の歴史・文化の普及啓発や魅力発信に繋がる	0（千円）	拡充・充実		
110-3	市内遺跡出土遺物保存処理事業	生涯学習課	出土品の保存処理及び希少性の高い資料の恒久化を行い市民共有の財産として公開・活用	効	保存処理により出土品を適正に保存・復元し、展示等の公開・活用事業に供することができる	◆ 保存処理対象遺物の数	×		令和5年度は出土品の保存処理の実施を見送ったが、これまでの保存処理済み資料の県内外の施設への貸出等が増加して公開・活用されており、着実に成果をあげている。 今後も保存処理された出土品の公開・活用を引き続き行っていく。
				誰	市や博物館等	◇ 展示等の活用件数	◎		
				何	保存処理された出土品を公開・活用することで、市内外に津市の歴史・文化の魅力を発信する	0（千円）	拡充・充実		

施策の内容評価シート（令和5年度分）

110-4	津城跡整備事業	津城跡の保存や活用に向け、城跡に関わる様々な情報を広く発信して市民意見の集約を行うなど、整備の方向性の検討を進める	効	津城跡の歴史遺産としての情報発信や関連事業を実施することで、整備に向けた方向性を見出す	◆ 津城関連の発信事業の実施	◎	庁内関係所管で組織する「津城跡（お城公園）整備調整会議」を立ち上げ、津城跡の整備のあり方の検討を開始するとともに、市広報「歴史散歩」での情報提供を開始した。また、10月にはシンポジウムを開催して約200人の参加を得た。併せてアンケートも行い、別途城跡の関連団体（10団体）への意見聴取も実施した。 初年度の成果を踏まえ、引き続き情報提供と事業展開を図っていく。
			誰	市内外の人々	◇ 普及・情報発信事業への参加・アクセス数	◎	
	生涯学習課		何	津城跡に関わる情報発信を通じ、津市の歴史への理解促進・普及啓発、津市の魅力発信に繋がる	112（千円）	拡充・充実	
110-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
110-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）

※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	C

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	C	B	C				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.